

【社会】

令和6年度茨城県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
 - 大問数：地 1、歴 1、公 1、地歴公 1 の計 4 問（昨年同様）
 - 小問数：28 問（昨年は 31 問）
 - 文章記述問題は 1 問（昨年同様）
- 出題傾向について
 - 用語で答える問題が 2 問、文章記述問題が 1 問で、残りは記号選択か ○ × で答える問題である。
 - 資料や文章は豊富で、読み取った上で答える問題が多い。
 - 並べ替え問題や計算問題も見られる。

■ 資料読み取り問題の出題

- ・資料を読み取って考察する問題が多く出題されており、資料から様々な情報を読み取る力が必要。

■ 歴史の時代関係の問題の出題

- ・例年、歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため、テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。

★茨城県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

	単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
地理的分野 出題内容別の傾向	世界の姿			●	●
	日本の姿	●		●	●
	世界各地の人々の生活と環境	●		●	
	アジア州			●	
	ヨーロッパ州、アフリカ州		●		●
	北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州	●	●	●	●
	地域調査の手法	●	●		●
	日本の自然、人口	●	●	●	●
	日本の資源・産業、世界との結びつき	●	●		●
	九州地方、中国・四国地方			●	●
	近畿地方、中部地方		●		
	関東地方、東北地方、北海道地方	●	●	●	●
	文明のおこりと日本	●		●	●
	古代国家の歩み	●	●		●
歴史的分野 出題内容別の傾向	中世社会の展開		●	●	●
	ヨーロッパ人と出会いと全国統一	●			●
	近世社会の発展	●	●		●
	近代ヨーロッパと日本の開国		●	●	●
	近代日本の歩み	●		●	●
	二度の世界大戦と日本		●	●	●
	現代の日本と世界	●	●	●	
	現代社会と私たちの生活	●	●		
	個人の尊重と日本国憲法		●	●	
	現代の民主政治、国会	●			●
公民的分野 出題形式別の傾向	内閣・裁判所、三権分立	●		●	●
	地方自治		●	●	
	消費生活と流通・生産、市場経済と金融	●	●	●	●
	財政、国民生活と福祉	●	●		●
	地球社会と私たち	●	●		●
	分野統合	●	●	●	●
	大問数	4	4	4	4
	小問数	38	36	31	28
	記号解答	14	34	25	25
	用語記述	5	2	5	2
出題形式別の傾向	文章記述	19		1	1
	作業・作図				